

明るく元気の出る町

平成6年2月1日発行・毎月1日 編集・発行 / 秋田県東由利町役場企画課

広報

ひがしゆり

HIGASHIYURI

東由利町

1994

2

NO.467



“めんこ” のぼんでん
1月5日、ぼんでん奉納

明るく元気の出る町 広報リポート

明るく元気の出る町をつくりだす 地域の貴重な提言が

新春町政座談会

問 新春町政座談会
答 县としては認められないと言っている

問 複式化防止対策に町講師対応の考
えは
答 平成十二年には高齢者比率が三十
四点になると推計される本町では、平
成十二年に向けて計画を立てている。

問 大琴小の児童数減少による複式化
は反対、現在の方向で検討できないか
答 二、三年生の複式化は免れないが、
できる限り努力して行きたい

問 コメの輸入自由化に伴う平成六年
度の対応は（減反、他用途米など）
答 あきたこまちと由利牛の里を推進
している。ほ場の道路、用排水路の再
整備、後継者問題など議論して進めて
いきたい

問 下水道のアンケート結果は（特に
宿地区）
答 下水道が必要と答えた人がおおむ
ね七割となっている

問 小野豆腐店脇の防火水槽が老朽化
しているので改修を
答 現に施設がなく水利に不便な所か
ら整備している。近くに川もあるので
今後の課題にしたい

問 遠藤二三雄宅周辺より川へ降りる
階段を作つてほしい
答 平成六年度に計画してみたい

問 根小屋線の路肩崩壊箇所の復旧は
町としても消雪後の状況を見て対
応したい。対策は講じる
答 遠藤寅雄宅までの道路を舗装して



▲各分館で活発な意見交換（写真・袖山分館）

新春恒例の町政座談会（移動町民室）が一月五日から十七日まで、公民館の各分館主催で行われました。

座談会では最初に阿部幸悦町長が「昨年は冷害、コメの部分開放、不況など激動の一年だった」と振り返り、「今年はこれらの事を踏まえていろいろな意味で“分岐点”的年である」と強調。明るく元気の出る町の核となる「長寿社会と共に育ぐ町」、「山紫水明の里づくり」、「産業の振興」、「人づくり施策」の四点を基本とする町づくりについて説明しました。
引き続き町民の方々から道路、水路整備など、直接生活に関連した要望や町の将来展望など幅広い意見が出されました。

宿分館

1月5日
高瀬館・約40人参加

問 町の老人保健福祉計画の概要是
答 平成十二年には高齢者比率が三十

四点になると推計される本町では、平

成十二年に向けて計画を立てている。

ヘルパーの増員等の内容になつていて

いる

問 コメの輸入自由化に伴う平成六年

度の対応は（減反、他用途米など）
答 あきたこまちと由利牛の里を推進

している。ほ場の道路、用排水路の再

整備、後継者問題など議論して進めて

いきたい

問 下水道のアンケート結果は（特に
宿地区）
答 下水道が必要と答えた人がおおむ
ね七割となっている

問 小野豆腐店脇の防火水槽が老朽化
しているので改修を
答 現に施設がなく水利に不便な所か
ら整備している。近くに川もあるので
今後の課題にしたい

問 遠藤二三雄宅周辺より川へ降りる
階段を作つてほしい
答 平成六年度に計画してみたい

問 根小屋線の路肩崩壊箇所の復旧は
町としても消雪後の状況を見て対
応したい。対策は講じる
答 遠藤寅雄宅までの道路を舗装して

答 里道で整備する計画だが、平成六年度は困難なので、少し待つてほしい

問 畑山文子宅までの道路の改良、舗装をお願いしたい

答 平成六年度に実施したい

問 平成五年に須郷側から小野武雄宅までの道路を改修してもらつたので、さらに土場沢側の改修をお願いしたい

答 緊急性とバランスから六年度は困難。もう少し待つてほしい

問 土場沢と杉森間の除雪をお願いしたい（毎日でなくともよいので）

答 現除雪体制では困難なので、通行止めの看板を立てたい。春には早期に開通したい

問 舟木会館前の横断歩道設置と国道に右折車線を

答 県に現況説明をして、対処したい

問 舟木・畠村間の山崩れ防止を（道路に岩石が落下するので）

答 県に現況説明をして、対処したい

問 舟木・畠村間の山崩れ防止を（道路に岩石が落下するので）

答 八塩二号線は八年度に完成。奥の細道は今年度完成。さらに六年度はダムの水上からの眺めも計画している

問 道の駅整備進捗状況について

答 総事業費四億五千万円の事業。トイレ、駐車場、照明等を整備していく

問 智者鶴地区の川の取水に経費をかけて揚水機を利用しているが、よい方法はないか

答 県と協議してみたい

問 雪が厚くなつたとき、午後からザクザクになり二、三日放置されるので早期の除雪を

答 全町どこでも同じ状態で行き届かないところもあると思うので、連絡してほしい

問 旧住吉小から福祉館までの歩道除雪を



▲舟木自治会入り口への右折車線の要望が

答 町道に移管される前に解決するよう働きかけていく

住吉分館

1月5日
福祉館・約30人参加

問 農業対策（コメ市場部分開放・不作）について

答 コメの部分開放を受けて、今後のあるべき姿を考えて行きたい

問 集落間の街灯整備について

答 現場を見て対応したい。要望の取りまとめは四月の自治会長会議以降に

問 スタッドレス時代に対応した急坂（泡ノ渕、大吹川桜清水付近）改修を

答 泡の渕地区は消雪剤で対応、大吹川地区は県に要望する

問 八塩開発整備進捗状況について

答 八塩二号線は八年度に完成。奥の細道は今年度完成。さらに六年度はダムの水上からの眺めも計画している

問 道の駅整備進捗状況について

答 総事業費四億五千万円の事業。トイレ、駐車場、照明等を整備していく

問 智者鶴地区の川の取水に経費をかけて揚水機を利用しているが、よい方法はないか

答 県と協議してみたい

問 雪が厚くなつたとき、午後からザクザクになり二、三日放置されるので早期の除雪を

答 全町どこでも同じ状態で行き届かないところもあると思うので、連絡してほしい

問 旧住吉小から福祉館までの歩道除雪を



▲県道仁賀保矢島館合線の桜清水付近は早期の改良が望まれる

答 平成六年度の自治会長会議以降に全町的に要望を取りまとめたい

問 水沢橋の改修を

答 歩行者に危険のないように平成六年度に実施したい

問 国道398号の改良の見通しは

答 県では未整備地区から整備したいと話している。再度県に陳情したい

問 国道398号の草刈りを今年は行つていなが、どうしてか

答 県の管理区分になつており、県に要望する

問 町道善徳線、林道荒沢線の法面保護を

答 善徳線は舗装と合わせて対応する。荒沢線は現地を調査したい

問 松沢浄水場の壁面等の補修計画は

答 屋根の雨漏り防止などの工事後に考えたい

問 須郷田跡見坂線館合新田地内の旧道との間に花壇の整備を

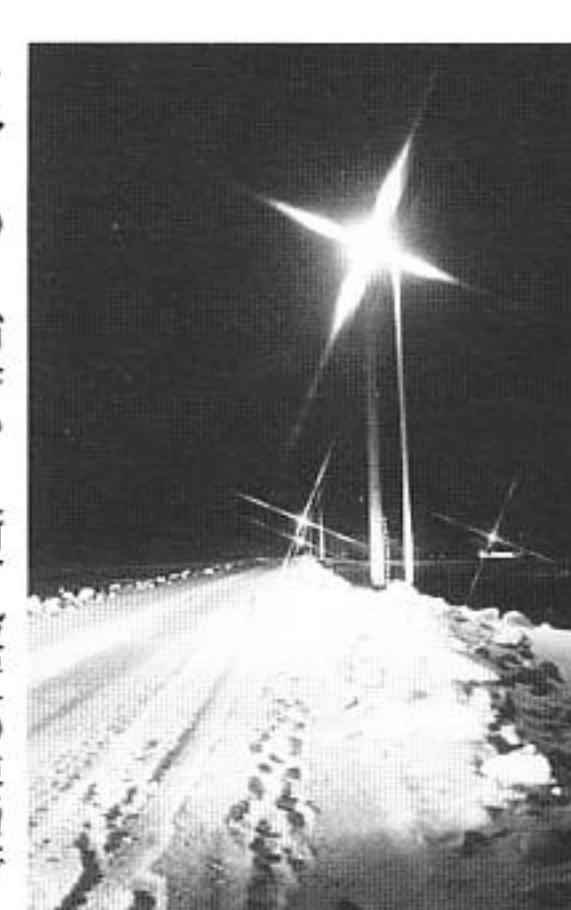
答 地元管理であれば実施の方向で対応したい

問 横山地区に流雪溝を作つてほしい

答 街灯の電気料を補助してほしい（半額程度）

答 平成五年度から三分の一補助を実施しているので、半額は難しい

問 住宅も混みあってないので、もうしばらく待つてほしい



▶多くの自治会から街灯設置の要望が寄せられた

藏分館

1月7日
大蔵館・約50人参加

問 街灯設置について（わら沢トンネル脇、旧国道）

答 県に要望していきたい

問 町の各委員会への女性登用を

答 望ましいと考える

問 各自治会に社会教育係、あるいはコミュニティ係設置について（分館運営委員と関連）

答 自治会内で対応してほしい

問 町の三大まつりの一つに「巨木まつり」（大いちょう、八本杉）を

答 木の保護など整備計画をもっており、その後の課題に

問 イメージソングを作りCD化を

答 今年は、町村合併四十年、町制施行二十周年の記念の年なので、考えてみたい

問 道の駅特産品コーナーと開発指導について

答 道の駅は七年度で完成予定。五年度から三年程度で道の駅付近に地場産品のレストラン、ショッピングセンター、温泉保養施設等を予定している

問 道路舗装改修では、快適性や美観を考え、早期の対応を

答 水溜まりとか穴については修理することはできるが、その他はすぐには無理

問 二基目のゴミステーション（代金、補助金の有無）について

答 半分程度の補助を考えている



▲道の駅は照明が完成

る道路改修について

答 現道補修だとすれば平成六年度に実施したい

問 宮の前線道路改良の平成六年度完成を

答 モデル事業で平成六年度完成予定

問 岩館バイパスの見通しについて

答 平成七年度の予定と聞いている

問 岩館、蔵の坂道改良の見通しについて

答 順次実施してもらっているが、県に強く要望している

問 下水道整備アンケート状況と見通しについて

答 アンケートでは七十%が必要と感じている。七年度から測量を始めたい

問 畜産広場十字路にカーブミラーの設置を

答 一時停止するので必要ないのではないかと判断する

問 太田千代三宅から消防ポンプが降りられるよう整備を

答 上流のほうは考えられるが、ここは無理と判断する

問 道の駅特産品コーナーと開発指導について

答 今年は、町村合併四十年、町制施行二十周年の記念の年なので、考えてみたい

問 道の駅特産品コーナーと開発指導について

答 木の保護など整備計画をもっており、その後の課題に

問 イメージソングを作りCD化を

答 今年は、町村合併四十年、町制施行二十周年の記念の年なので、考えてみたい

問 道の駅特産品コーナーと開発指導について

答 木の保護など整備計画をもっており、その後の課題に

老方分館

1月9日
老方館・約40人参加

問 高橋源一宅前に流雪溝の整備を

答 補助事業で対応できないので、現在は難しい

問 小松正之助宅後ろのU字溝の鎮圧を

答 軟弱な場所であり、現地を見て対応したい

問 杉江孝子宅前の流雪溝の蓋を修理してほしい

答 現場を見て対応したい

問 河川の大きな柳は、河川清掃では

答 須郷地区の河川の護岸整備を急いでほしい

問 河川の大きな柳は、河川清掃では

答 須郷地区の河川の護岸整備を急いでほしい

問 太田千代三宅から消防ポンプが降りられるよう整備を

答 一時停止するので必要ないのではないかと判断する

問 下通りの県道に穴があいているので修理を

答 県に要望する

問 両前寺の中の水路に蓋をしてもらっているが、その延長もお願いしたい

答 現地を見て検討したい

問 町道袖山線の地すべり箇所に大きな石があるので落ちないように措置を

答 現地整備計画に入っているが、もう少し待ってほしい

問 県道仁賀保矢島館合線の矢島町と

の境、桜清水付近の急坂の早期改良を

答 この路線では現在館合バイパスに工事が集中しており、その後の対応になる見通しである

問 大琴小の複式化防止を

答 法的には平成六年度に二、三年生が複式化となる。町としては、誠意をもって対応したい

問 町道赤倉線の橋の向こうの舗装は

答 改善で事業完了と考えている

問 町道坪倉線袖山側入口付近の簡易林道の土が流れ側溝が埋まる。対策を

答 現場を見て対策を講じたい

問 大吹川の農道整備を

答 産業道路整備事業の中で対応して

法内分館

1月17日
法内館・約40人参加

問 旧法内小解体の規模と内容は

答 春までに解体する。校舎、体育館、トイレがあり、解体規模は地元と協議



▲町道袖山線の地すべり

町長 阿部 幸悦

日記

七地区での町政座談会を一月五日から十七日まで、各地区公民館分館に主催していただき開催することができました。地区に出向いて町行政のご理解や地区的要望や課題を聞きながら、出来るものは新年度の予算に盛り込んで行きたいということで地区分館にお願いして開いていただいております。

座談会は新年会を兼ねての会にもなります。その為に、こちらの日程の都合でどうしても午前中になる地区では、座談会が終わった後の懇親会が盛り上がり、主催の分館長さんはじめ皆さんに大変気の毒で本当に申し訳ないことを感じました。次回は是非午後から

地区町政座談会を終わつて

七地区での町政座談会を一月五日から十七日まで、各地区公民館分館に主催していただき開催することができました。地区に出向いて町行政のご理解や地区的要望や課題を聞きながら、出来るものは新年度の予算に盛り込んで行きたいということで地区分館にお願いして開いていただいております。

座談会は新年会を兼ねての会にもなります。その為に、こちらの日程の都合でどうしても午前中になる地区では、座談会が終わった後の懇親会が盛り上がり、主催の分館長さんはじめ皆さんに大変気の毒で本当に申し訳ないことを感じました。次回は是非午後から

時間をとつて欲しい、ときつく言われたものです。

後の会はともかく座談会では熱心に今の中の状況、そして将来に向けての町づくりについて語り合いました。人口の動向、年齢構成、子供の数、高齢化率、農業振興、不景気の影響、河川の汚れと下水道整備、道の駅と拠点整備の進捗率、温泉の活用方法等々、重く大きい問題や明るい明日につながる施策などの全町的な話題、そして生活に密着した地区ごとの課題などが話し合われ、予定された時間があつと言つて過ぎるのでした。

地区の問題は出身議員の皆さんからも常時提言がなされますし私たちも十分現状把握が出来ていることだと自負



▶解体される旧法内小

したい
場の規模と
内容は
答 二十アル
程度。秋ま
でに土盛を
完成し、そ
の後利用状
況を見て整
備したい
問 野田の
防火水槽が
老朽化して
危険なので

答 現地を確認のうえ対応したい
問 十二ノ前の火の見櫓の解体を
答 平成六年度に解体し、ホース乾燥
塔を建てる予定
問 桧ノ沢の堤が漏水するので改修を
答 現地を調査する
問 正木沢の林道災害の復旧を
答 現地を見て対応する
問 農道稻子沢線の整備状況は

答 平成四年は千一頭、平成五年はそ
れを上回る千十頭が上場された。何ら
かのお祝いを考えている
問 法内地区の未認定河川の認定を
答 春に現地を見て対応する
問 旧法内小の下の農道整備を
答 採択要件が厳しくなっている。も
う少し待つてほしい

答 平成五年度と六年度に用地買収を行なう工事着手したい
問 十二ノ前地区の頭首工の復旧を
答 現地を確認する
答 危険防止柵を含めて対応したい
問 温泉の利用方法は
答 道の駅に付設して保養施設の計画
がある。順調に行けば平成七年度に完
成したいと考えている
問 平成五年の子牛市場上場の状況は
答 平成四年は千一頭、平成五年はそ
れを上回る千十頭が上場された。何ら
かのお祝いを考えている
問 法内地区の未認定河川の認定を
答 春に現地を見て対応する
問 旧法内小の下の農道整備を
答 採択要件が厳しくなっている。も
う少し待つてほしい

地区座談会も受け付けます

町では、「地域の細かな要望を町政に反映させ、明るく元気の出る町に」と、新春町政座談会のほかに一、二の自治会が一つになって座談会を行う「地区座談会」も受け付けています。
窓口は企画課です。お気軽にご相談ください。

今年も町県民税と所得税の申告時期が近づいてきました。この申告は住みよい町づくりのために使われる貴重な財源となる町県民税、国民健康保険税及び福祉年金の受給資格を算定するときの重要な資料となります。今年の申告相談は二月二日から別表の日程で行われます。なお、本荘税務署での確定申告の受付は二月十六日から三月十五日（個人の消費税の申告期限は三月三十一日）までです。

はじめます「申告相談」

申告は一月一日現在が基準

申告の必要な方は①平成六年一月一日現在、東由利町に住所のある方で、

平成五年中に所得（収入）のあった方。ただし、十八歳以下の方や、現在、町県民税を特別徴収（給料から天引）されている方には申告書用紙の配布はありません。②給与所得及び雑所得（公的年金）のある方で、それ以外に農業、不動産（家賃、小作料等）、配当などの所得のあった方。③平成六年一月一日現在、町内に事務所、事業所のある方となっています。

申告に必要な書類はおおむね次のとおりです。当日になつて混乱しないよう、早めに準備しましょう。

▼申告書▼印鑑
▼生命保険料、個人年金保険料、損害保険料の支払証明書

▼医療費の領収書（寝たきりで医師が交付した「おむつ使用証明書」のある方は、おむつ代の領収書も含まれます）▼健保健証など家族の生年月日がわか



平成6年 申告相談日程表

		午 前 (受付 9時~11時)		午 後 (受付 1時~3時)		
月	日	曜	自治会名	申告会場	自治会名	申告会場
3	木	祝沢	祝沢会館	黒沢・大台	黒沢会館	
4	金	新沢	新沢会館	須郷田	須郷田会館	
		板戸	板戸会館			
7	月	舟木・畠村・奥ヶ沢	舟木会館	宿	宿会館	
8	火	大琴（上組）	高瀬館	大琴（中組）	高瀬館	
9	水	大琴（下組）	高瀬館	下吹	高瀬館	
10	木	高屋	高屋会館	土場沢	土場沢会館	
		沼	沼会館	杉森	杉森会館	
14	月	小倉	小倉児童館	中ノ沢・高村	小倉児童館	
15	火	野田・新処	克雪センター	十二ノ前・桂台	克雪センター	
16	水	横渡・島	大蔵館	藏	大蔵館	
17	木	岩館・宮ノ前	大蔵館	藏新田	大蔵館	
18	金	横小路・湯出野	役場会議室	中通・上里	役場会議室	
21	月	上通	役場会議室	下通	役場会議室	
22	火	寺田・茂沢	役場会議室	新町（7~8組）	役場会議室	
23	水	家ノ下・八日町	玉米会館	宇戸坂・館西・五海保	玉米会館	
24	木	下小路	玉米会館	山崎・久保	玉米会館	
25	金	館合新田（上・中）	新田会館	館合新田（下・跡見坂）	新田会館	
28	月	大吹川・須郷	大吹川会館	袖山	袖山児童館	
3	火	営業・その他事業 新町（1~3組）	有鄰館	営業・その他事業 新町（4~6組）	有鄰館	
		向田・智者館（松台を除く）	向田会館	泡ノ瀬・松台	泡ノ瀬会館	
	木	黒瀬	八塩館	地下ノ沢・葎沢	八塩館	
	金	石高	住吉会館	田代	住吉会館	
	月	松柴	松柴会館	高岡屋・下小屋・時雨山	時雨山会館	
	火	所得税	有鄰館	所得税	有鄰館	
	水	タ	タ	タ	タ	
	木	タ	タ	タ	タ	

るもの（家族に障害のある方がいる場合は手帳など級別がわかるもの）▼住宅特別控除を受けている方は金融機関で発行する残高証明書と税務署より送付されている住宅取得等特別控除証明書

▼源泉徴収票

▼給与所得のある方

▼公的年金等を受給している方は源泉徴収票

▼農業所得のある方

支出した必要経費がわかるもので、主に次のようなもの。▼農機具購入証明書（大農具）▼農業用自動車売買契約書▼賃耕、賃刈等の領収書及び雇用費明細書（領収書）▼農業用自動車任意保険領収書▼農機具の修理費（一機種五万円以上）▼制度資金及び農機具の利

▼譲渡所得のある方

（土地、建物などを売った場合）▼譲渡した物件にかかる売買契約書または、売買価格の証明できる書類▼譲渡費用（仲介手数料、測量費等）の領収書▼登記済の場合は登記済書など

子證明書（JA、農機具店で発行）など。▼営業所得のある方

▼大工、左官及び日雇いの方

▼年間の稼働日数証明書（月別仕事先と賃金の明細）▼大工、左官で請負仕事の場合は、①機械、器具（道具）の購入または修理の領収書②事業用自動車の売買契約及び燃料費、修理費、税金（自動車税、重量税）、車検経費の領収書③請負工事ごとの損益計算書④組合国保の保険料領収書

▼収入、支出の明細のわかる帳簿や関係書類

▼大工、左官及び日雇いの方

▼営業所得のある方

▼大工、左官及び日雇いの方

▼収入、支出の明細のわかる帳簿や関係書類

ひがしゆり・6

今年1年の無火災を祈願



▲阿部町長が団員らを観閲

新春恒例の消防出初式が一月六日、健康増進センターで行われ、町消防団員や婦人消防隊など関係者二百三十人余りが出席しました。昨年は二月の洪水に始まり、五件の火災が発生するなど記憶に残る一年だつただけに関係者は「今年こそは無火災の年に」と気持ちを新たにしていました。

消防の存在に心強さ

式典では、午前十時に「無火災」を祈願したく

の消防団員や模範団員、火災や救急時に協力された方々を表彰しました。

その後阿部町長が「昨年は記憶に残す玉を阿部幸悦町長が開放し団員らを觀閲しました。引き続き、永年勤続

する災害の一年となり、消防団員の存在に感謝し心強く感じた一年であります

た。今後も町の民生安定のため、活躍されるよう期待します」と告辞。石渡町消防団長は「町民の生命と財産を守るのがわれわれ消防団員の使命である。今年こそ団員一丸となつて無火災の年に」と訓示しました。引き続き由利福祉事務所の渡辺次長をはじめ四人の方が祝辞を述べました。

最後に被表彰者を代表して第四分団の遠藤謙一部長が「われわれ消防団員は今後、団長を中心としてさらに一致団結し消防精神の高揚に努め、一層精進することを誓います」と答辭を述べました。

被表彰者は次のとおりです。

(敬称略)

【県消防協会長表彰】《十五年勤続章》遠藤謙一(十二ノ前)、小松君悦(十二ノ前)、三浦良男(田代)、長谷山喜悦(石高)、畠山芳一(宇戸坂)、阿曾寛一(宇戸坂)、阿部盛喜(十二ノ前)、千葉源治(桂台)、《十年精勤章》佐藤貴志(八日町)、小松仁(家ノ下)、高橋春雄(松柴)、鈴木将(袖山)

【町長表彰】《模範団員》佐藤太智雄(向田)、長谷山肇(石高)、莊

野和浩(松柴)、長谷山満(山崎)、畠山正光(下通)、遠藤富作(祝沢)、遠藤寿幸(祝沢)

【町消防団長表彰】《甲種精勤章》

小松睦男(田代)、横山茂(泡ノ渕)、

小野和敏(五海保)、佐藤茂一(松柴)、

高橋正(五海保)、小松秀栄(湯出野)、

阿部重樹(呂館)、遠藤茂(横渡)、

伊東寛(横渡)、遠藤勝(野田)、

佐々木幸浩(大琴)、佐々木善永(大琴)、《乙種精勤章》渡辺利宏(田代)、小野悟(時南山)、小野久一(須郷田)、遠藤清(小倉)、佐々木直(大琴)、佐々木興(大琴)、鈴木重一(袖山)、小野正志(袖山)、小野裕明(宿)、小野弘通(宿)

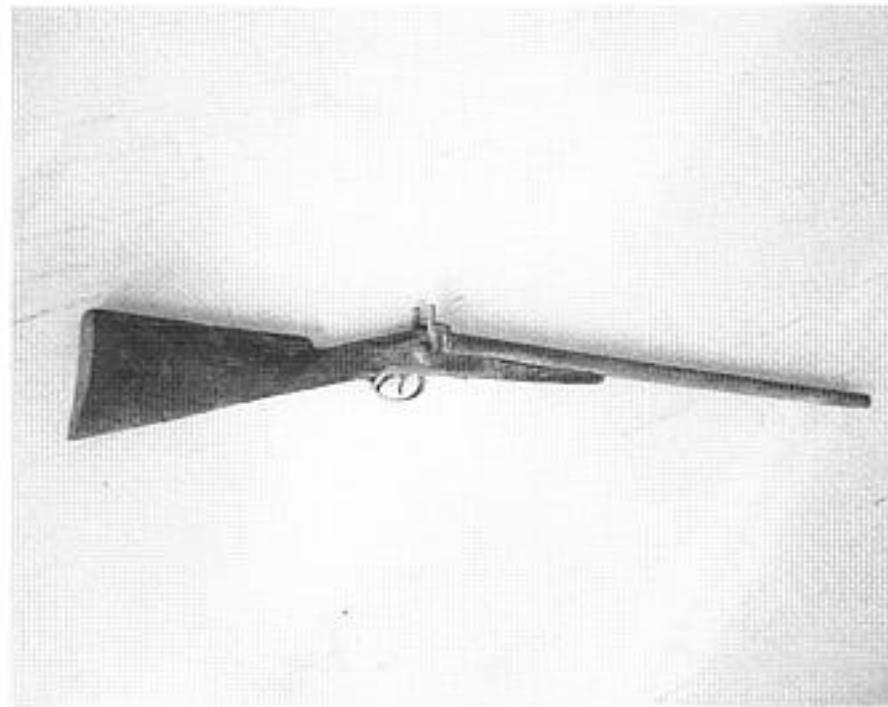
【町長感謝状】《退職団員》小松芳久(高戸屋)、高橋長一(智者鶴)、

畠山吉基(館合新田)、小野一成(宿)、佐藤輝明(下通)、小野一(藏新田)、佐藤新一(新処)、佐藤陽先(下小屋)、佐藤秀人(田代)、加藤秀勝(湯出野)、《消防施設用地協力者》佐藤兵太郎(智者鶴)、小松作蔵(津沢)、小松民三郎(下小路)、佐藤佐市(新町)、小松勘一郎(下通)、小野義次(土場沢)

【本荘地区消防事務組合管理者表彰】《火災現場協力功労者》伊東麻理子(高村)、木島省吾(大台)、石綿孝悦(大台)、《有)東幸自動車職員一同

【本荘地区防火委員会会長表彰】《優良婦人消防隊》藏新田婦人消防隊

はい！
役場です



▲町に寄贈された二連銃

全国的に見ても貴重な価値

管打ち式水平二連銃が町に

金が二つ付いているのが大きな特徴です。

保存状況が悪く機関部が錆び付いているほか、照星、吊り管などは欠損しているものの二連銃の現存品は全国的に

も珍しいということです。

町では「東由利の当時の歴史を振り返る意味でも貴重な資料。今後は手入れ保管をして、時代背景等調べていきたい」としています。

ありがとうございました。

♥愛の献血

十二月二十七日（敬称略）

四〇〇cc
—
—
—

長谷山節男
斎藤伸一
阿部豪
小松恵治
小松和弘

小松健
畠山明
横山玉一
小松正二
佐藤一裕

小野里子
佐藤富美子
小野博子
柿崎松美
守屋富士子
鈴木富士子
小松五緒子
渡辺サキ

小松千司子
猪股友子
石山万里子
島山伸
佐々木守
柴正徳
八嶋俊子

柏谷むづみ
高橋美和子
阿部弘章
佐藤豊隆
大庭和子
高橋ゆき子
猪股寿和

高橋孝紀
小松信記
遠藤晃
高橋美和子
大庭和子
阿部志保子

成分献血（血液中の血小板、
血漿だけを献血し、赤血球などは体内に返す献血）

昨年五月に宮の大日向小吉さんが発見拾得した古銃がこのほど町に寄贈され、町教育委員会が鑑定を依頼した結果、「この種の銃は全国的にみても希少で、歴史的文化遺産の価値が高く、真に貴重である」と報告されました。

鑑定書によるところの銃は、安政頃（一八五四年～一八六〇年）に製造されたもので、日本製（原型ベルギー・カーパット・ショーン一八五〇年に類似）。口径が一・七五吋、全長一・七・二セイ、銃身長七六・二セイの管打ち式水平二連銃で引き

三月一日オープン予定で工事が進められているディサービスセンターの利用者登録の受付が二月一日から始まります。登録は役場町民課と東光苑で行いますのでお気軽に相談してください。

登録できる方は「町内に居住し、自宅での日常生活に支障のある概ね六十五歳以上の方」となっています。一日十五人程度利用できる仕組みになっており、七十五人の方が登録できます。東光苑に付設して建設されている同センターは、木を使い段差のない設計になっており、体の不自由な方でも楽に行動でできるようになっています。浴室は二室、床暖房を取り入れ、ホテルや食堂を広くし、趣味の教室や運動にも利用できるよう配慮されています。

また、介護支援センターでは、保健婦が常駐し、介護の指導や個別訪問などを行うことにしています。

利用料は、利用者が一日五百円（昼食代込み）、介護者が三百五十円（昼食代）となっています。

利用者登録2月1日から受付 新設のディサービスセンター

経営する／＼ 意欲を

農業士懇談会で活発な意見

「町の営農リーダーである農業士と懇談し、魅力ある農業振興を考えよう」と六人の農業士と町との懇談会が一月十八日、有鄰館で行われました。

本町では、金子拓雄さん（新町）が指導農業士、小松義嗣さん（松柴）、小野勝徳さん（上里）が経営農業士、木島成寿さん（岩館）、小野武志さん（下吹）、佐々木精人さん（大琴）が青年農業士の資格をそれぞれ秋田県知事から与えられています。

懇談会では最初に阿部幸悦町長が「コメの部分開放が決定され、日本農業も一つの転換期を迎える。東由利農業のリーダーである農業士の方々の意見を聞いて今後の参考にしたい」とあいさつ。引き続いての意見交換では農業士の方々が「東由利農業には経営者として自立した考えのある人が絶対必要。『これでメシを食う』という基本的なものを持たなければならぬ」と経営する意欲を育てるべき

考にしたい」とあいさつ。引き続いての意見交換では農業士の方々が「東由利農業には経営者として自立した考え方がある人が絶対必要。『これでメシを食う』という基本的なものを持たなければならぬ」と経営する意欲を育てるべき

と経営する意欲を育てるべき

と経営する

善戦むなしく初戦で涙 八塩小バスケ全県大会

第十五回全県スポーツ少年団大会兼第二十一回全県ミニバスケットボール教室交歓大会が一月五日から三日間県立体育館で行われました。

本荘由利地区代表として出場し、昨年ベスト8に進出した八塩小男子チームは、強豪を相手に善戦健闘しました。

初戦の相手は秋田大学付属小（秋田第一代表）。前半から相手ペースとなり苦戦を強いられたものの第四クオーターには十五点を奪つ猛攻を見せ、相手を圧倒しましたが、結局四十三対十九で初戦で涙をのみました。しかし秋田大学付属小はその後も勝ち進み東北大会出場を果たしており、八塩小男子チームの健闘には大きな称賛が寄せられ、今後の活躍に大きな期待がもたれます。

▲健闘した八塩小
社会福祉協議会では「届けられた餅はその日のうちにお年寄りに届け、大変喜ばれた。このような機会を通して福祉の輪を広げていきたい」と話しています。



▲健闘した八塩小

広げよう福祉の輪

ヘルシード食品で ダイエット

「スリムをめざした減量作戦」をテーマにしたフレッシュ教室が一月十二日、有鄰館で行われ約三十人が参加しました。



▲JAのヘルパーが餅をプレゼント

本荘保健所の木元栄養士を講師に招いて行われたこの教室では、肥満防止の心掛けなどを勉強した後、ダイエット食品の実習を行いました。

J Aのホームヘルパー七人が十二月二十七日、「一人暮らしのお年寄りにお正月用の供え餅を」と町社会福祉協議会を訪れ二十五人分の餅をプレゼントしました。

実習では「お好みちらし」、「とうふの香り揚げ」、「ホウレン草の辛子酢和え」の三種類に挑戦。作り方が以外と簡単なこともあり参加者からは「家に帰って早速作ってみたい」との声も聞かれ、早くもダイエットに向けての効果が見られていました。

高齢者対策リーダー養成研修会で三級ホームヘルパーの資格を取得した七人は、研修で福祉の大切さを実感したことから「少しでも役に立てば」と手作りの供え餅をお年寄りにプレゼントする事を決意、みかん、松、昆布がセットになつた供え餅を社会福祉協議会に届けたものです。



▲30人が参加したフレッシュ教室



囲碁は駆け引きが魅力

新春恒例の全町囲碁大会が一月十五日、玉米会館で行われ囲碁爱好者十人が参加しました。

大会は十人の総当たり戦で行われ、参加者たちは、みんなを片手に世間話を交えながら楽しいひとときを過ごしていました。

主催した町囲碁クラブでは「囲碁の魅力は何と言つても駆け引き。自分のイメージどおりの試合ができたときは最高の気分。多くの人に参加してほしい」と話しています。試合結果は次のとおりです。

(敬称略)

優勝 佐藤謙(館西)
準優勝 小松佳和(田代)
第三位 小松昭作(下小路)



▲真剣な表情の参加者たち

伸び伸び書き初め



▲大琴小では体育館で書き初め

今年で六回目を数えるバレー ボールリーグ戦が一月十日から健康増進センターで行われています。試合日は毎週月、水曜日。

今年は昨年より二チーム少ない八チームが参加。地区や

企業チームのほか四十二歳の年祝いを記念して参加するチ

ムも見られ、顔触れもさまざまです。

町内各小学校の書き初め大会が一月十七日に大琴小と八塩小で、十八日に高瀬小でそれぞれ行われました。

大琴小では三年生以上の児童五十八人が体育館に集合。最初に六年生の佐々木哲也君が「三学期一番最初の会なので頑張って書きましょう」と

あります。三年生が「お正月」、四年生が「美しい空」、五年生が「希望の春」、六年生が「未来の夢」と題が決められ、広い体育館で伸び伸びと書いていました。

同小では「書き初めは、全員で一斉に書いた方が伸び伸びと書く事ができるのではと体育館で行うこととした。作品には金、銀、銅の賞を付け校内に展示する予定」と話しています。



▲白熱した試合を展開

8チームが熱戦 バレーボールリーグ

渡辺三郎さんが来町 スキー指導員講習会

スキー技術の一層の向上を図ろうと本荘由利指導員講習会が一月二十、二十一日の両日大平スキー場で行われ、管内の指導員約二十人が参加しました。

今年は講師は全日本スキー連盟デモンストレーターの渡辺三郎さん。指導員たちは渡

辺さんの技術を少しでも勉強しようと真剣に講習を受けていました。

一月で日程の半分に当たる十四試合を消化。二月末まで総当たりの試合が続けられ、上位四チームによる決勝トーナメントが三月六日に健康増進センターで行われる予定です。

大平スキー場を初めて訪れたという渡辺さんは「私が来たことによってよい刺激になればすばらしいと思つて講師を引き受けた。スキーは遊び心があればいつまでも続けるので、この楽しさを多くの人に味わってほしい」と話しています。



▲渡辺さん(最前列、左から2人目)を囲んで

HIGASHIYURI 東由利の話題 TOPICS



町の宝もの

21

土場沢の「〆縄打ち」

大平スキー場を右に見て土場沢に入る峠道は、矢島藩時代の年貢米を杉森・沼・由利町の大水口を通つて、子吉川まで運んだ道であります。

の大蛇といふか龍の形をした十数メートル

ものを架け渡していました。今は道路が改修されて便利になっていますが、メ縄を左右の木にかける事ができず、写真のように東側斜面上の桜の木に架けています。

現在十戸で毎年八月十七日に当番の家に集まり、半日かけて作っています。由来はワラ製の大蛇をシメナワというのではなく、部落出入口三か所（峠・杉森口・高屋口）のメ縄を作ることからのように、いつ頃からの風習かはつきりしないようです。

文
· 畫山昭一



何をつくっている
のでしょうか？

株式会社大日向商会では三十人の従業員が働いています。カー用品はもちろん、最近では指に巻いておくだけで水虫が直る「がんこな水虫一発退治」、スキーを履いたまま楽に歩ける「らくウォーク」などのアイディア商品が数多く発売されています。

大日向貞弘社長は「不景気などには関係なく、新製品の開発を心掛けている。すばらしいスタッフに囲まれて、

楽しみながら仕事ができ充実した毎日」と話しています。

アイデア商品を製造

株式会社 大日向商会



おかあさん
登場

愛育班から

大坂 イヨさん（下通）

地域内の健康づくりと保健婦さんとの連絡調整が私の主な仕事。いろいろな地域の人々と触れ合える機会が増えた、充実した毎日です。前回愛育班活動をしたときは、「健康について教える」という立場で活動していたように記憶していますが、今回は「井戸端会議の中での話し合い」という活動になっています。あまり深く考えず気軽に行動する事が愛育班活動の中で大切なことの一つだと思います。

日常生活の中での刺激によつて、心や体に起きる「ゆがみ」や「ひずみ」が一般にストレスといわれています。これららの調査を行つてゐるストレス疾患労災研究会では、「ストレスが重なると生活習慣が徐々に乱れ、成人病の発生源となる。規則正しい生活習慣がストレスを解消し、成人病予防につながる」と生活習慣の改善を呼びかけています。この機会に生活習慣のチェックをしてみてはいかがでしょうか。

- ◆二ヶ月ほどんと毎晩接待や仕事の付き合いで酒を飲んでいる。
- ◆一日にコーヒーを五杯以上飲んでいる。

◆毎日の仕事の時間や回数が決まっていないし、朝食を抜くことが多い。

◆元々、ハナヘンの、この、な、脂っこい食物が大好きで、毎日のようく食べる。

◆たばこを一日三十本以上吸っている。
◆午後十時以前に帰宅することはめつたにない。あるいは週の半分は午前様だ。

◆ここ数年、スポーツで汗を流したことがほとんどない。

◆健康には人一倍自信があり、この一、二年健康診断を受けていない。

※二つ以上該当するものがあれば、今
の生活弱點を改善する必要があります。

チェック！生活習慣

規則正しい生活で 成人病予防を

冬はやっぱりスキーが最高

町スキー少年団（本部・町教育委員会）が発足して、今年で三年目。

「スキーダ好き！ 冬大好き！」という彼らの活動状況を紹介します。



▲練習前にコーチ陣から指示が出る。子供たちの表情も真剣

後々はレーシングチームに

今年の町スキー少年団の団員は、小学二年生から中学三年生までの子供たち二十七人。活動は十月二日から行われ、十一月二十五日までは中学校体育館や健康増進センターで基礎体力や筋力トレーニング。翌二十六日からは矢島ニシザワカップ（会場・矢島スキー場）を皮切りに、全県や郡市のスキー大会に出場。このほかに毎週火、木、土曜の三回、午後七時から九時まで大平スキー場で練習が行われて

います。

今年はまだ雪不足のため、大平スキー場の第三リフトが主な練習場。普段は優しいお父さんたちもスキーを履くと鬼コーチに変身。厳しい口調で子供たちの指導に当たっています。団員たちは「練習は厳しいけど、上手になつたときはうれしい。大会での入賞が今年の目標」と気持ちを引き締め真剣な表情で練習しています。

今年はまだ雪不足のため、大平スキー場の第三リフトが主な練習場。普段は優しいお父さんたちもスキーを履くと鬼コーチに変身。厳しい口調で子供たちは「練習は厳しいけど、上手になつたときはうれしい。大会での入賞が今年の目標」と気持ちを引き締め真剣な表情で練習しています。

今月以降は、千畳大回転大会（会場・千畳スキー場）やヤマハアルペンスキー大会（会場・湯沢スキー場）など九大番の楽しみである「北海道合宿」なども予定されています。

「スキーダ好き！ 冬大好き！」の子供たちの活動はこれからが本番で、四月上旬まで続けられます。



▲「スキーダ好き！ 冬大好き！」と4人。後列左から小松裕介君、石綿民紀君、遠藤亮太君、前列阿部大真君

ほくうはスキースポーツ 少年団

（敬称略）

八塩小	佐野 真一	小松 裕介
高瀬小	佐野 新	遠藤 貴恵
	長沼 淳	

八塩小	佐野 真一	小松 裕介
高瀬小	佐野 新	遠藤 貴恵
	長沼 淳	
八塩小	遠藤 信二	工藤 邦彦
高瀬小	遠藤 優太	遠藤 信二
		小松 裕介

八塩小	高橋 幸代	阿部 大真	小松 朋未
高橋由貴子	遠藤 健光		
高橋由貴子			
高橋由貴子			
高橋由貴子			

八塩小	高橋 幸代	阿部 大真	小松 朋未
高橋由貴子	遠藤 健光		
高橋由貴子			
高橋由貴子			
高橋由貴子			

八塩小	高橋 幸代	阿部 大真	小松 朋未
高橋由貴子	遠藤 健光		
高橋由貴子			
高橋由貴子			
高橋由貴子			

八塩小	高橋 幸代	阿部 大真	小松 朋未
高橋由貴子	遠藤 健光		
高橋由貴子			
高橋由貴子			
高橋由貴子			



わ☆
わが家の
アド・トル☆

横小路・森川美由紀ちゃん
(H3・9・14日生まれ)
由高さん、美緒子さん
の長女

「歌がとても大好きです。妹の子守歌はわたしと一緒に歌っています」とお母さんの美緒子さん。

- ◆干餅を吊す大寒通し土間
- ◆生き堪えて命の証し枯芒
- ◆大寒や目覚めし夜半の盜酒
- ◆川風に覚めよとたたかる枯芒
- ◆大寒や夜勤ナースの靴の音
- ◆枯芒刈る手に痛む沼の風
- ◆砦跡石垣のみや冬芒
- ◆冬芒搖れ荒海のあらわるる

東由利の文芸

せせらぎ句会(一月)

- 佐藤 正義(湯出野)
- 小野 貞子(藏新田)
- 阿部 勤(横渡)
- 菊地 常作(湯出野)
- 小笠原亮子(藏新田)
- 工藤 武雄(山崎)
- 小松 順之助(中通)

黒瀬地区では就労先の事業所が借り上げたデラックスバスに地酒などの入った段ボール箱を積み込んで、「父さん体に気をつけてな」、「あとを頼んだよ」と言葉を掛け合いながらバスに乗り込んでいました。

この年の出稼ぎ者数は八五二人。昭和四八年秋の第一次石油ショックを契機に戦後最大の不

昭和五〇年一月、昨秋に出稼ぎに行つた人々が正月帰省で約二か月ぶりに家族と団らん。七日には再び郷里をあとにしました。

出稼ぎ者は八五二人

況と呼ばれていた時代でした。

出稼ぎ者数はその後減少し、

昭和五二年から七〇〇人台で推移、昭和六〇年には五九六人、平成三年には三九八人、今年は二九〇人となっています。

健康管理は個々に

安全就労 家族への責務



あの日・あの時

自動車部品製造の会社に勤務している彼女の担当は「ワイヤーのモーター部の部品」製造。

流れ作業のため「仕事はきつい」と言いながらも「会社の人たちとの何げない会話が何よりも楽しむ」と話す明るい彼女。

休みの日は家にいることが多いそうで「洗濯に掃除」の日が多いとか。そのほかには雄物川高校出身のため県南の友達と遊びに行つたりもしているそうです。

通勤時間は約一時間。「東由利の除雪はとても良く行きどいている」と話ながらも「本荘方面は道路整備が進んでいますばらしいけど、横手方面の特に久保・



佐藤千賀子さん(23歳)
下小屋・秋田指月株式会社
(羽後町) 勤務

リバウンド

板戸間の整備を急いでほしい。
冬は特に気を使います」と通勤面での要望を一言。

次は館合新田の小野薫さんにリレーします。

- ◆寒中の神が五作の雨降らす
- ◆大寒や道行く人は襟立てて
- ◆大寒や名だたる高野豆腐考古から
- ◆大寒に椀の温もり朝厨
- ◆枯すすき仏陀の道の隅に老ゆ
- ◆片耳に湖鳴り聞くや枯芒
- ◆硯水に酒の香の洩る寒の入り
- ◆遠山に陽を置く村や冬芒
- ◆大寒や闇より迫り来る気配
- ◆大寒の風の棲みつく深廻

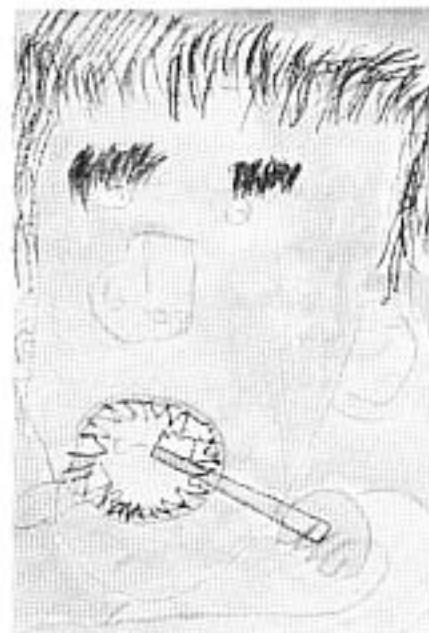
※先月号の大庭喜右工門さんの作品「欲得も」は「欲も苦も」の誤りでした。

みんな集まれ！タウン



▲左からのぞむくん、たかひろくん、ゆきひろくん、のぞみちゃん

みどり保育園



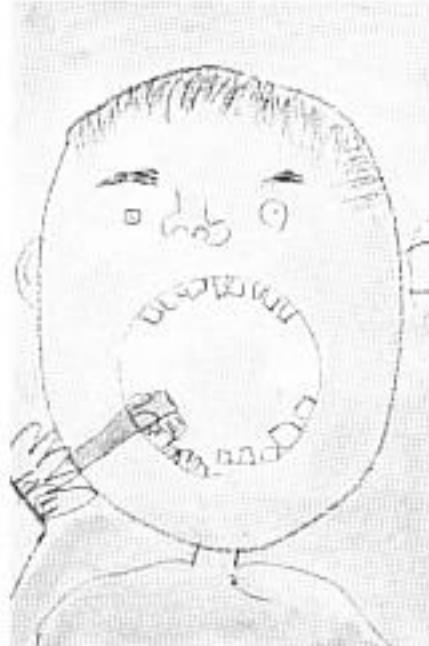
◆おおばのぞみ
(山崎)

ぼくの絵わたしの絵

▼だけいしのぞむ
(山崎)

はみがき
たのしい

▼やつしまつかひろ
(黒渕)



▲わたなべゆきひろ
(向田)

ぼくの夢は、科学者です。わけは、今地球のまわりにあるオゾンそうが、はい出ガスやフロングスなどでこわれてきたから、オゾンそうを直す機械を作つて地球をはかいしないようにした

いからです。それとソーラーカーなどを作つて、安く売つてたくさん的人に買ってもらつて今は出ガスを出す車をなくしてほしいからです。ほかにも公害で苦しんでいる人たちの直せる薬を作つてより住みよい地球にしたいです。

未来の夢は？（高瀬小五年生）



伊藤 涼平くん



遠藤 晃人くん

笑顔の子供たち

と設備を整えてやりたいと思つています。



遠藤 貴恵さん

利町の町長になつてこの東由利町を、今の十倍も二十倍もきれいにして、もっと住みごこちのよい東由利町にしたいと思って

三年生ぐらゐの時から、家の設計図を遊んで書いていました。そしたら、どんどん楽しくなつて、家の設計図を子どもが書く設計図くらいで書きました。

まだ、かつこいい家はできていませんが、高校や大学は設計に関するところに入つて、かつこいい家の設計図を書いて、夢をかなえたいです。

この気持ちは三年前この高校に入学するときの不安感とは違つたものだ。

このような不安な気持ちを打ち消せるような事をこの三年間で学びとれただろうか。今、こうして思い浮かべてみると色々な事があった。運動会や球技大会それに強歩大会。

高校生活も残り少なくなってきた。この春には社会人として新たな生活を始めた。就職が決まり、温水プールや、デパートがあつたらしいなあと思つてます。でも、デパートが自然はかいをしないように、ちゃんと

私は体育委員を三年間続けた。体育委員は競技内容を決定したり、プログラムを作成したりする面倒な仕事だ。これは一日や二日では出来ないし、ましてや一人で出来る仕事でもない。最初は嫌だったのに三年間続ける事ができたのは、皆で協力すればするほど内容の良いものが早く出来るし、その大会が成功して終わった時の喜びをもう一度味わいたいと思ったからだ。

私はこのように、皆と協力することによって、大きな事が成りできる事を知った。就職してこの事を忘れず、自分の教訓にして頑張っていきたいと思う。

ハイスクール○日記

下郷分校で学んだこと



下郷分校3年
小松 紀子さん

2月→データ東由利

(12/1~12/31)

人口 ()は前月比

■男	2,720人	(△3)
■女	2,864人	(+4)
■計	5,584人	(+1)
■世帯数	1,423戸	(一)

()は1月からの累計

- 出生…4人(38) •死亡…2人(72)
- 転入…7人(89) •転出…8人(141)

■火災出動	1件(5)
■救急出動	11件(100)
■交通事故	2件(8)
•死亡	0人(1)
•傷者	2人(7)
■飲酒運転	0人(0)
■酒気帯び	0人(4)

カレンダー 2月の行事

5~6	第10回大平雪まつり(大平スキー場)
7	ふれあい安心電話協力員懇談会(有鄰館10:00)
13	全町バドミントン大会(健康増進センター9:00)
20	全町綱引き大会(健康増進センター9:30)
27	全県選抜雪上野球東由利大会(勤労者野球場)
27	婦人シンポジウム(有鄰館9:40開会)

※税金を2月で完納した場合、三百円×世帯数の完納奨励金が交付されます。



トリカブト

(キンポウゲ科)

文・写真 小松忠正

日本各地にある多年草で、毒草です。種類も変種を合わせると五十種以上になります。写真は八塩山の山麓で撮影したもので「エゾトリカブト」と思われます。葉は厚く、切れ込みの深い掌状で互生します。秋に梢上に円錐花序をつくり青紫色の花を集めてつけます。花の形が舞楽に用いる冠に似ていることからこの名があります。たまたま「ニリンソウ」と間違つて食べ中毒することがありますので注意が必要です。毒草ですが、華材として生け花に使われたりします。



No.108



(12/21~1/20届出)



雪遊び



「子供は風の子」。冬は雪遊びが一番ですね。のどかな風景でした。

(撮影・広報担当)

最近はワープロという便利な機械が普及して、手書きの文書がほとんど目につかなくなりました。広報「ひがしゆり」もワープロで原稿を作成しており、それでもワープロがきちんと書いてくれるのでとても助かっています。漢字の書き方が分からなくて困るところが、いつもワープロを使っているせいか漢字を忘やすくなりました。原稿を依頼するときも読み方が分からず四苦することも。便利さだけにとらわれず、辞書を引く大苦感しているこの頃です。



町社会福祉協議会に遠藤博秀さん(蔵)、佐々木道義さん(大琴)、佐々木正安さん(大琴)、大沼武且さん(蔵新田)、鈴木龍太郎さん(寺田)から芳志が届けられました。広報送付の謝礼として畠山竹志さん(茂沢出身、本荘市在住)、小松俊典さん(新町出身、藤枝市在住)、佐々木易照さん(上里出身、本荘市在住)、鈴木敏三さん(袖山出身、岩城町在住)、小野玲朗さん(宿出身、相模原市在住)から金一封が届けられました。ありがとうございました。

まごころ